

児童の姿を中心に語れる教員を目指すことと、校内研究が授業改善につながるように、次の二つのことに取り組みました。

- ①「読み解く力」と本校の校内研究の授業の流れを関連させたグループ協議
- ②グループ協議後の学年ごとの振り返り

### ①グループ協議用の模造紙

「読み解く力」の

- ①発見・蓄積
- ②分析・整理
- ③再構築

それぞれのプロセスで、どこまで目指すのか具体的な児童の姿を記載しました。

授業後、模造紙に児童の実際の姿をまとめていきました。

|                                     |         |                                                |
|-------------------------------------|---------|------------------------------------------------|
| 必要な情報を確かに取り出す                       |         |                                                |
| 文章や資料等から、目的に応じて情報を取り出す              | ① 発見・蓄積 | 相手の言葉、しぐさ、表情をもとに相手の意図を感じ取る                     |
| 情報を比較し、関連付けて整理する                    |         |                                                |
| 様々な情報を比較し、目的に応じて分析したり、整理したりする       | ② 分析・整理 | 相手の思いや意図を自分の考えや経験と比較しながら整理する                   |
| 自分なりに解決し、知識を再構築する                   |         |                                                |
| 解釈した内容を経験や知識と結び付けながら考えを深めたり、創造したりする | ③ 再構築   | やりとりを通して、相手の思いや意図を踏まえながら、自分の考えを確かなものにし、創造したりする |

### ②グループ協議後の学年ごとの振り返りの様子



グループ協議後に学年ごとに振り返りを行うことで授業改善の視点が定まりました。また、教員が自分の授業を振り返るよい機会になり、今後の授業に生かせるポイントを焦点化して考えることができました。

(E小学校 校内研究主任)

